

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立介護実習普及センター	所管課	福祉保健・長寿社会課
所在地	甲府市北新1丁目2番12号	設置年月日 (改築年月日等)	平成9年4月1日
管理方式	指定管理者(社会福祉法人山梨県社会福祉協議会、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立介護実習普及センター設置及び管理条例		
設置目的	高齢者の介護に関する知識及び技術を普及し、もって高齢者の福祉の向上を図る。		
主な施設内容 (定員等)	山梨県福祉プラザ1階(447.30㎡) 福祉用具展示室(160.05㎡)、介護実習室(142.60㎡)、事務室(29.58㎡) 調理実習室(68.75㎡)、相談室1(13.20㎡)、相談室2(13.12㎡)、倉庫(20.00㎡)		
主な業務内容	(1)高齢者の介護に関する講座及び研修の実施に関する業務 (2)高齢者の介護に関する相談及び情報提供に関する業務 (3)高齢者の介護用機器展示に関する業務 (4)施設及び施設器具の維持保全に関する業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数	利用者数	8,596	9,842	9,753	
	利用者数合計	8,596	9,842	9,753	
	目標値	8,820	9,261	9,724	10,210
	目標値設定の考え方	平成20年度の利用 想定人数を8, 400人として、 5%アップを目標	対前年比の5% のアップ	対前年比の5% のアップ	対前年比の5% のアップ
	対21年度比	100.0%	114.5%	113.5%	118.8%
稼働率					

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	34,748,651	34,917,645	33,824,797	35,083,916
	その他	27,000	60,000	42,500	60,000
	収入合計(A)	34,775,651	34,977,645	33,867,297	35,143,916
支出	人件費	17,768,910	20,400,856	19,232,184	20,559,210
	県への納付金				
	管理運営費	15,587,301	14,576,789	15,552,103	14,584,706
	(うち外部委託費)(B)				
	支出合計(C)	33,356,211	34,977,645	34,784,287	35,143,916
収支差額(A-C)		1,419,440	0	-916,990	0
外部委託比率(B÷C)		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
利用者一人当りの経費		3,531	3,591	3,468	3,436

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成23年5月～平成24年3月		
	実施方法:		
	①テーマ別介護講座受講に関するアンケート	回答者数	211人
	②認知症サポーター養成講座受講に関するアンケート	"	491人
	③介護職員研修受講に関するアンケート	"	380人
④展示室利用に関するアンケート	"	86人	

単位: %

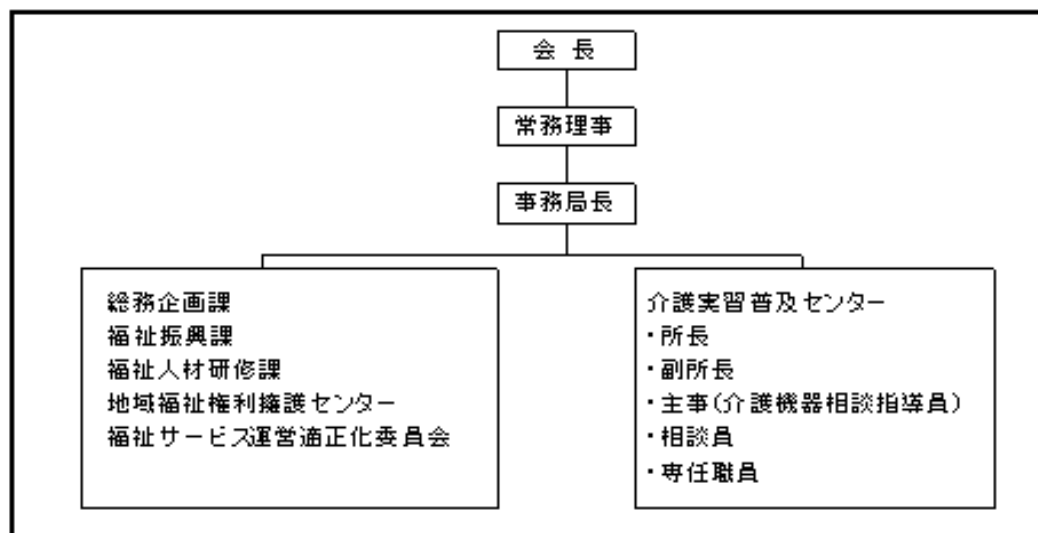
調査項目	大変参考になった	参考になった	やや期待はずれ	期待はずれ
①講座の評価(講義)	68.0%	32.0%	0.0%	0.0%
①講座の評価(実技)	76.3%	23.0%	0.7%	0.0%
②講座の評価(講義)	54.3%	43.8%	1.9%	0.0%
③講座の評価	66.4%	32.3%	1.3%	0.0%
④利用しての感想	59.0%	39.8%	1.2%	0.0%
各項目の平均	64.8%	34.2%	1.0%	0.0%

利用者の意見	(講座)・これからの介護生活の中で実践していく勇気が出た。・疑似体験をして、高齢者の気持ちが身に染みてわかった。・今後の介護に対する考え方を見直す良い機会になった。等 (展示室)・これからの私達の生活にも必要な時もあると思うので、大変良かった。・使い方等説明がていねいで分かりやすかった。・いろいろな介護用品がたくさんあることに驚いた。等
利用者の意見への対応	・アンケートの集計結果では、「大変参考になった」「参考になった」という意見が大半を占め、満足度の高さを感しているが、より充実した内容の講座や展示室づくりに努める。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	東日本大震災を教訓に防災に留意し、展示室や講座等において事故やケガがないよう「マニュアル」にもとづき、安全な管理に努めた。また、施設及び機器のメンテナンスや修繕は適切に行った。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。
運営業務	事業計画書にもとづき適正に業務を執行した。また、照明の消灯や用紙の節約など環境に配慮した運営を行った。	事業報告書及び現地確認の結果、適正に実施されている。 定員に届かない講座もあるため、講座内容を検討し受講者のニーズに合わせた質の高いサービスの提供に一層努めていただきたい。
自主事業	出張講座やリクエスト講座を積極的に受け入れ、実績を上げることができた。また、高齢者疑似体験セットを多くの学校や団体でのイベントや授業のために貸し出すことができた。	計画どおり適正に実施されている。
利用状況	利用者数は東日本大震災の影響もあり、前年度と比べ若干減少したが、目標値は上回ることができた。事業は計画どおりに実施できた。	利用者数は、目標値を達成している一方、前年度実績を下回っている。引き続きPR方法の工夫をしながら周知を行い、利用者増の取り組みを行っていただきたい。
収支状況	予算内で仕様書のとおり運営できた。また、利用者1人当たりの経費は前年度を下回ることができた。さらに、節電の徹底などにより経費の節減に努めた。	23年度の利用者1人当たりの経費は3,468円で前年度より63円下回った。また、節電などにより経費節減に努めていることは評価できる。一層の経費節減に努めていただき、展示品の充実や自主事業の一層の充実などに努めていただきたい。
利用者満足度	講座や展示室利用のアンケートを見ても、利用者の評価や満足度は高かった。今後も利用者のニーズに添った事業運営に努める。	・「大変良かった」、「満足した」という意見がほとんどを占めている。 ・今後も利用者のニーズに沿った各種事業を進め、親切・丁寧な対応に努めていただきたい。
運営目標の達成状況	利用者のニーズにきめ細かく対応することにより、利用者数が目標値を29名上回り目標値を達成した。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設管理・運営業務・自主事業等について、条例、協定及び実施計画等に基づき概ね適正に履行した。また、利用者数は目標値を達成しており、利用者一人あたりのコストは前年度より63円低くなっている。一層の利用者の増加を図るため、アンケートの内容や過去の受講状況等の分析を通じ、今後ともニーズに合った講座内容、実施時期、周知方法等の工夫に努めていただきたい。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	利用者の数は目標値を達成することができた。申込み状況の多い講座の開催回数を増やす対応をする一方、定員に達しない講座もあるので、なお内容の検討や周知方法を考える必要がある。 また、夜間講座や土日講座等も要請があれば柔軟に対応する。 展示室については、限られたスペースのなかで配置替えを行い、来所者が安心して利用できる展示室づくりに一層努める。	

7. 管理体制(組織図)



〔職員一覧〕

役職・職種	担当業務	能力・資格 経験年数等	雇用形態	備考 (出勤日等)
所長	教務主任(統括) 個人情報管理責任者	管理業務経験 7年	正規職員 常勤	月～金 8:30～17:15
副所長	教務担当事務職員 (施設管理)	社会福祉主事 福祉事業従事31年	正規職員 常勤	月～金 8:30～17:15
主事	介護機器相談指導員 (講座・展示場 企画運営)	看護師 看護業務18年 福祉事業従事5年	正規職員 常勤	平日4日 8:30～17:15 土日のいずれか1日 8:30～17:15
相談員	介護機器相談員 (福祉用具、介護 機器相談)	社会福祉士 福祉事業従事5年	非正規 (常勤)	平日4日 8:30～17:15 土日のいずれか1日 8:30～17:15
専任職員	教務職員 (教務・講座の補助)	福祉事業従事2年	非正規 (常勤)	月～金 8:30～17:15